

第 55 回全国学生剣道優勝大会実施における 新型コロナウイルス感染防止対策基本方針

第 55 回全国学生剣道優勝大会を開催するにあたり、同大会実行委員会では下記内容の新型コロナウイルス感染防止対策を講じさせていただきます。

大会中や大会後に発症者が出た場合、関係者の健康や感染拡大を防止するため「濃厚接触者」（待機期間は、最終接触日を 0 日目として 5 日間を原則とする）を作らないよう運営していく所存です。

※ 濃厚接触者とは？（厚労省 HP より）

濃厚接触者とは、陽性となった人と一定の期間に接触があった人をいいます。ここでいう一定の期間は、症状のある人では症状出現から 2 日前、症状のない人では検体採取時から 2 日前の期間です。

この期間に、以下の条件に当てはまる人を濃厚接触者といいます。

- ✓陽性者と同居している人
- ✓陽性者と長時間接触した人（車内、航空機内などを含む。機内は国際線では陽性者の前後 2 列以内の列に搭乗していた人、国内線では周囲 2m 以内に搭乗していた人が原則）
- ✓適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた人
- ✓陽性者の気道分泌液や体液などの汚染物質に直接接触した可能性が高い人
- ✓マスクなしで陽性者と 1m 以内で 15 分以上接触があった人
（ただし、これはあくまで原則であり、状況を聞き取ったうえで保健所が総合的に判断）

大会実施要項の内容と共に、本基本方針をご理解の上、遵守いただきますようお願い申し上げます。また、本基本方針を遵守頂けない場合、他の参加者の安全を確保する等の観点から、当該大会への参加取り消しや途中退場を求めることがありますのでご注意ください。

なお、今後の感染状況や新型コロナウイルスの位置付けなどを含む社会情勢の予測が困難であることから、本基本方針は、より厳しい措置を講じる前提としており、今後の感染状況や様々な情報を元に逐次内容の見直しを図る予定です。出場する選手の皆さんにおかれましては、本基本方針の内容がさらに厳しくなる、あるいは、より緩和される可能性があるという点にご理解いただき、大会出場の準備（稽古）をして頂くよう、お願い致します。

1. 参加者が遵守すべき事項

① 参加者は 以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせる。

- 1) 体調がよくない場合。（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 2) 同居家族や身近な知人に下記にあてはまる方がいる場合。

- ・新型コロナウイルス陽性者の方。
- ・新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者と認定された、もしくは認定される可能性がある方。

- ・その他、新型コロナウイルスの感染が疑われる方。
- 3) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった場合。
- ② 来賓、観客、審判員、大会運営スタッフは、事前の PCR 検査を不要とし、大会当日は常時マスクを着用する。
- ③ 出場選手は、大会前日～3 日前（10 月 6～8 日）の間に PCR 検査もしくは抗原検査で陰性確認をする。（同期間内で結果が得られるように早目の対応をお願い致します。）
- ④ 出場選手は、競技中や待機時含めて常時マスク着用とする。
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ⑥ 競技中を除き、他の参加者、運営スタッフ等とのソーシャルディスタンス（以下 SD という。できるだけ 2m 以上）を確保する。
- ⑦ 大きな声で会話は控える。また発声を伴う応援等をしない。集団での応援は禁止。
- ⑧ 感染防止のために当該大会実行委員会が決めたその他の措置を遵守し、その指示に従う。
- ⑨ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、最寄りの保健所等に報告するとともに、実行委員会にも速やかに報告する。
- ⑩ 各自のスマートフォンに『新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）』をインストールして利用すること。

※ アプリの詳細は、下記の厚生労働省ホームページを参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

- ⑪ 会場にて掲示する QR コードを各自のスマートフォンで読み取り、『埼玉県 LINE コロナお知らせシステム』を利用すること。（システムの利用には、埼玉県 LINE 公式アカウント「埼玉県－新型コロナ対策パーソナルサポート」と友だち登録する必要があります。）

※ システムの詳細は、下記の埼玉県ホームページをご参照ください。

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/line_corona-oshirase_top.html

2. 感染者、濃厚接触者、感染疑いのある者の競技会参加の可否 について

大会への参加予定者（出場選手、チーム関係者、役員など）に感染者が出た場合、当該感染者や所属チーム及び同感染者との濃厚接触者等への対応は以下の通りとする。

① 感染者への対応

大会開催日 2 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査で陽性反応があった場合、当該選手は参加を辞退する。または、実行委員会による出場権利の取り消しを行う。

但し、次の 1) 及び 2) の場合は、大会への出場を認める。

- 1) 有症状の場合は、症状が出た日から 10 日以上かつ症状軽快後 72 時間以上経過（または軽快後 24 時間以上あけて 2 回 PCR 検査で陰性を確認）している。
- 2) 無症状の場合、PCR 検査の検体採取日から 10 日以上経過（または採取日から 6 日経過後に 24 時間以上空けて 2 回 PCR 検査で陰性を確認）している。

② 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、下記の確認ができた場合は、当該選手の出場を認める。

- 1) 陽性者の感染可能期間内に陽性者と接触した最終日を 0 日目として翌日から 5 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、コロナの諸症状が出ていない。
- 2) 陽性者の感染可能期間内に陽性者と接触した最終日を 0 日目として 2 日目及び 3 日目に抗原検査で陰性確認している。

③ 感染疑いの者への対応

大会開催日 2 週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、原則当該感染疑い者は参加を辞退する。または、実行委員会による出場権利の取り消しを行う。但し、症状が出た日から 10 日以上かつ症状軽快後 72 時間以上経過（または軽快後 24 時間以上あけて 2 回 PCR 検査で陰性を確認）している場合は、大会への出場を認める。

※ 感染疑い症状とは

- ▼息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあ
る場合。
- ▼重症化しやすい方（高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患 COPD 等の基礎疾患
がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で、
発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ▼上記以外の方で「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合

3. 具体的な感染対策に係る対応について

① 2 週間前～当日対応

- ・各大学にて来場者の決定を行う。
- ・来場者（選手/観客/役員/審判/指導者/来賓）の大会 2 週間前 9 月 25 日（日）から体温チェックを行う。
- ・選手は大会 2 週間前より剣道の自大学以外の対外稽古（合同練習、他大学や他道場への出稽古など）を禁止する。感染予防策が不十分な他の武道・スポーツの練習参加も禁止します。
- ・出場選手全員が大会前日～3 日前（10 月 6～8 日）の間に PCR 検査もしくは抗原検査で陰性確認をする。（同期間内で結果が得られるように早目の対応をしてください。）また、各大学、団体の指導責任者は、出場選手全員が陰性であることを所定の書面にて大会前日までに実行委員会へ提出する。（PCR 検査の詳細については、後述）
- ・審判、役員、来賓、各大学の指導者を含む選手以外の関係者など、選手以外の来場者については、PCR 検査などでの陰性確認は不要とする。
- ・来場者は大会前日 10 月 8 日（土）12:00～17:00 の間に個別に Google forms へ所定の質問に回答し送信する。実行委員会はこれをもとに来場者全員の名簿（名前・連絡先）を作成

し、入館チェックを行う (Google アカウントなしでも OK の設定)

※ 回答の URL は、10 月 7 日中にご連絡致しますが、回答できるのは、前述の時間のみとなります。また、回答頂けない場合は、入館できませんのでご注意ください。

② 入館時の対応

- ・上記の 2 週間前対応を遵守した者のみ、入館を許可する。
- ・来場者名簿掲載者以外の飛び込み入館は不可とする。
- ・大会会場へ集合後に、会場係が来場者リストの確認、体温チェックと手指アルコール消毒を実施する。その際、37.5℃以上または体調不良の者及びその濃厚接触者も入館不可とする。
- ・選手及び観客は、大学単位でまとまり、大学毎に時間差を設けて入館する。

③ 会場内での対応

- ・出場選手は、競技中や競技待機時含めて常時マスク着用とする。(※マスク着用については、詳細後述します。)
- ・来賓、観客、審判員、大会運営スタッフは常時マスク着用とする。
- ・開会式は通常通り行う。(ただし入場行進は割愛する。)
- ・閉会式は通常通り行い、褒章授与も会場にて実施する。
- ・各コートの結果は、競技終了後すみやかに会場内にアナウンスを行う他、大会ホームページにてリアルタイムで結果の更新を行う。
- ・1 階競技場へ入場は、役員、審判の他、実施している競技種目に出場する選手 (団体実戦競技監督も含む) のみとし、それ以外の者は入場禁止とする。
- ・応援は声援を禁止し、拍手のみとする。
- ・観客席の各大学着席エリアを設定し、エリア内の SD 確保を行う。
- ・会場内は、施設側の換気設備を稼働させるほか、主道場への出入口扉を全て開放し、常時十分な換気を行うようにする。

④ 競技前後の対応

- ・試合前後の選手の手指の消毒を実施する。
- ・競技 (種目) 終了ごとにコートの消毒を実施する。

⑤ 競技中の対応

- ・選手は競技中もマスク着用とする。
- ・選手は、競技中にマスクのズレや外れなどが生じないように選手は十分な事前確認や工夫を行う。
- ・万が一、競技中にマスクずれが生じた場合は、自身で必ず直すこと。なお、マスク直しが軽微であれば減点対象とはしないが、頻度や所作によっては、減点の対象とするため、基本はズレない工夫を行うこと。
- ・万が一、個人法形競技中にマスク外れが生じた場合は、競技に支障がなければ演武を継続する。競技に支障がある場合は、その時点で構えたまま停止し、役員が予備マスク等を装着してくれるまで演武中断すること。

- ・演武や試合中の気合は通常通り発声して良いものとする。
- ・マスクの着用を考慮し、実戦の競技時間を 30 秒短縮する。(全種目 1 分 30 秒)
- ・連戦インターバルは 2 分を基準とする。(3 連戦など、状況に応じてさらに延長する)
- ・礼法の際、発声する場合は必要最低限の音量とする。
- ・対戦後の握手は行わない。
- ・赤帯は不織布の帯 (1.4m) を運営より配布し、個人持ちとして使用する。

⑥ 審判の対応

- ・審判は常時マスクを着用する。
- ・実戦時は電子ホイッスルを使用する。また、電子ホイッスルは審判同士で共有せず個人持ちとする。(※運営にて準備)
- ・法形時、判定の旗は個人持ちとし、審判同士で共有しない。(※運営にて準備)

⑦ 来場者規制の対応

- ・来場者数の制限は行わない。
- ・基礎疾患有無や年齢制限、ワクチン接種有無等による来場者規制は行わない。

⑧ 競技中のマスク着用について

日本剣道協会より、競技中のマスク着用については、任意(選択可)とできる旨の大会開催ガイドラインが通達されていますが、本大会では競技中のマスク着用を必須とした前提で、各大学の選手の皆さんに準備を頂きます。

感染予防対策のうち、マスク着用の選択肢としては、着用必須、着用任意(選択可)とするかの 2 択となります。

一方、着用を任意とするか否かの判断基準は、新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢を見極める必要があります。現段階において大会開催当日のコロナ感染状況等を予測することは困難です。

従って、実行委員会としては、選手の皆さんには、より厳しいマスク着用必須という条件でご準備頂くこととしました。

上記を踏まえ、競技中のマスク着用については、下記の通りといたします。

- ・競技中を含め、選手は常にマスク着用とする。
- ・熱中症や呼吸のしやすさを考慮し、マスクの種類はスポーツマスクを推奨する。
- ・適宜マスクを交換できるように予備のマスクも準備すること。

※なお、マスク着用の制限については、今後のコロナ感染状況等を鑑み、内容を変更する可能性がありますのでご了承ください。

⑨ その他の対応

- ・昼食中は SD を十分確保する。また、私語を禁止し、黙食を徹底する。なお、昼食時間は設けないため、各自試合経過を確認しながら観客席や屋外にて個々で済ませること。
- ・各団体の交通手段の分散を推奨する。(体調不良者があれば濃厚接触者となり入館・出場不

可となるため注意すること。)

- ・ Live 配信は実施しないが、後日大会の様態をアーカイブして期間限定で公開予定とする。
- ・ 実戦時の面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、同じ大学内でも原則共有禁止とする。
止むを得ず共有する場合は、各団体の責任において使用前後のアルコール消毒等を徹底する。
- ・ 三密を避けるため、会場内での競技結果の掲示は行わない（ネットの即時アップのみ）。
- ・ 前日の会場練習は事前申込み制とし、19：00-20：30 を解放時間とする。（予定）
- ・ PCR 検査の検査結果は、団体責任者が確認する。また、入館者の Google forms を通じた体調確認の際に PCR 検査の陰性確認の項目を作成し、報告を必須とする。
- ・ マスクの種類については、個人差が異なるため指定は行わない。但し、マスクの代替としてのフェイスシールドの使用は禁止する。
- ・ マスクは必要に応じて、適宜交換すること。
- ・ 大会中に発熱者などが出た場合に備え、実行委員会が用意した抗原検査キットで検査を行い、陽性の疑いがある場合は開催地付近の PCR 検査や LAMP 法（ランプ法：簡易 PCR 検査）での検査が出来る病院を確認しておく。
- ・ 当日着用する道着は、洗濯済みのきれいな道着を着用するものとし、大会会場に着替えること。（自宅や宿泊先から大会会場への移動中は道着を着用しないこと。）
- ・ 大会後の打ち上げ、懇親会等は禁止とする。

4. 大会当日に感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合の手順

- ① 有症者が発生した場合、最寄りの審判や運営役員に連絡する。
- ② 連絡を受けた者は、大会実行委員長へその旨を伝達するとともに、有症者を医務員に引き渡す。
- ③ 有症者は会議室等の別室に隔離し、検温や問診を行う。なお、当該隔離室への入室者は最低限にとどめる。
- ④ 有症者に対して、できるだけ早急な帰宅を促す。帰宅準備が整うまで隔離室にて待機させる。
- ⑤ 有症者が帰宅後、隔離室の換気や物品消毒を実施する。

5. 大会終了後に感染疑い者、感染者が発生した場合の手順

- ① 大会終了後 3 日以内に出場選手の中で体調不良等による感染疑い者が生じた場合、当該選手は医療機関の受診や PCR 検査等を受検すること。その結果、コロナ陽性となった場合は、保健所や所属大学へ報告の上、その指示に従うとともに、遅滞なく実行委員会宛に連絡をすること。
- ② 保健所や大学から濃厚接触者有無の連絡があった場合は、その旨も実行委員会へ連絡すること。なお、当該濃厚接触者への連絡等については保健所等の指示に従うが、実行委員会からも申し送りを行うこととする。
- ③ 実行委員会では、選手の競技記録から、対戦相手又は同チームで出場している団体へ要請者発生を連絡し、発熱等の体調監視に努めつつ、不要不急の外出を控えて頂くよう

要請する。

- ※ 濃厚接触者認定については、保健所や大学等の判断を優先とします。ただし、実行委員会では、本基本方針の内容上（マスク着用を必須としていることから）他の選手が濃厚接触者に認定される可能性は極めて低いと思われるものの、競技の対戦相手や同チームで演武していた選手には、念のため陽性者発生を報告するものとします。
- 本来、コロナ陽性情報は個人情報に当たりますが、感染拡大防止の観点から、上記の対応を取りますので、当該対応内容をご了承いただく前提で大会にエントリーください。

6. PCR 検査及び抗原検査（以下、PCR 検査等という）について

① PCR 検査等結果確認書の提出

- ・各大学、団体の指導責任者は、出場する全選手について実施した PCR 検査結果が全て陰性であることを確認し、添付-1 の“PCR 検査等結果確認書”を提出してください。
- ・PCR 検査等結果確認書は、実行委員会アドレス宛（taido.univ@gmail.com）にメールにてご提出ください。（メール送付ができない場合は、日本剣道協会事務局宛に FAX 等で送付ください。）
- ・検査会社等から受領した PCR 検査結果（メールや書面など）や自身で行った抗原検査キットの陰性表示（写真を撮影しておく）については、各団体に保管し、実行委員会から当該結果の提示を求められた場合は、提示できるようにしておいてください。（提示できない場合は、参加を取り消すことがあります。）

② 検査の種類について

- ・検査種類については、PCR 検査または抗原検査と致します。（精度等を鑑み、抗原検査を含むその他の検査での代替は不可と致します。）

③ PCR 検査キット等の紹介

- ・東亜産業(株)製 PCR 検査キット、ネットショップ等で購入可。
<https://www.oroshistadium.com/shopdetail/000000003973/>
- ・木下グループ PCR 団体集配検査、ネットより申込が必要。
<https://covid-kensa.com/group.html>

④ PCR 検査結果が得られるまでの時間について

- ・感染者数の増減に伴い、民間検査会社への検査依頼件数も増減します。従って、検査結果が得られるまでの時間は、各社がアナウンスしている標準的な期間を超過する可能性があります。
- ・購入するキット「によっては、検体集配サービス等もありますが、事前予約が必要で、繁忙状況によっては、希望する日時に予約できない、あるいは、予約したのに集配が遅れるなどの可能性があります。
- ・上記を考慮し、検査依頼や予約等については、繁忙状況を注視しつつ、余裕をもって計画するようにしてください。

6. 個人情報の取扱い

- ① Google forms への回答などで提供頂く個人情報（氏名や連絡先、体調など）については、データ漏えい、紛失等が無いよう厳正な管理を行ないます。
- ② 当該個人情報は、本大会来場者の健康状態把握及び来場可否判断など、新型コロナウイルス感染予防対策に係る目的のみに利用し、個人情報保護法の法令において認められた場合を除き、本人同意を得ず第三者に提供致しません。（ただし、大会会場にて感染者又はその疑いのある者が発見された場合、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。）
- ③ 取得した個人情報は、大会終了後少なくとも 1 か月以上保管します。
- ④ 保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに破棄します。

－ 以 上 －